



ご当地 **太坊さん** 茨城

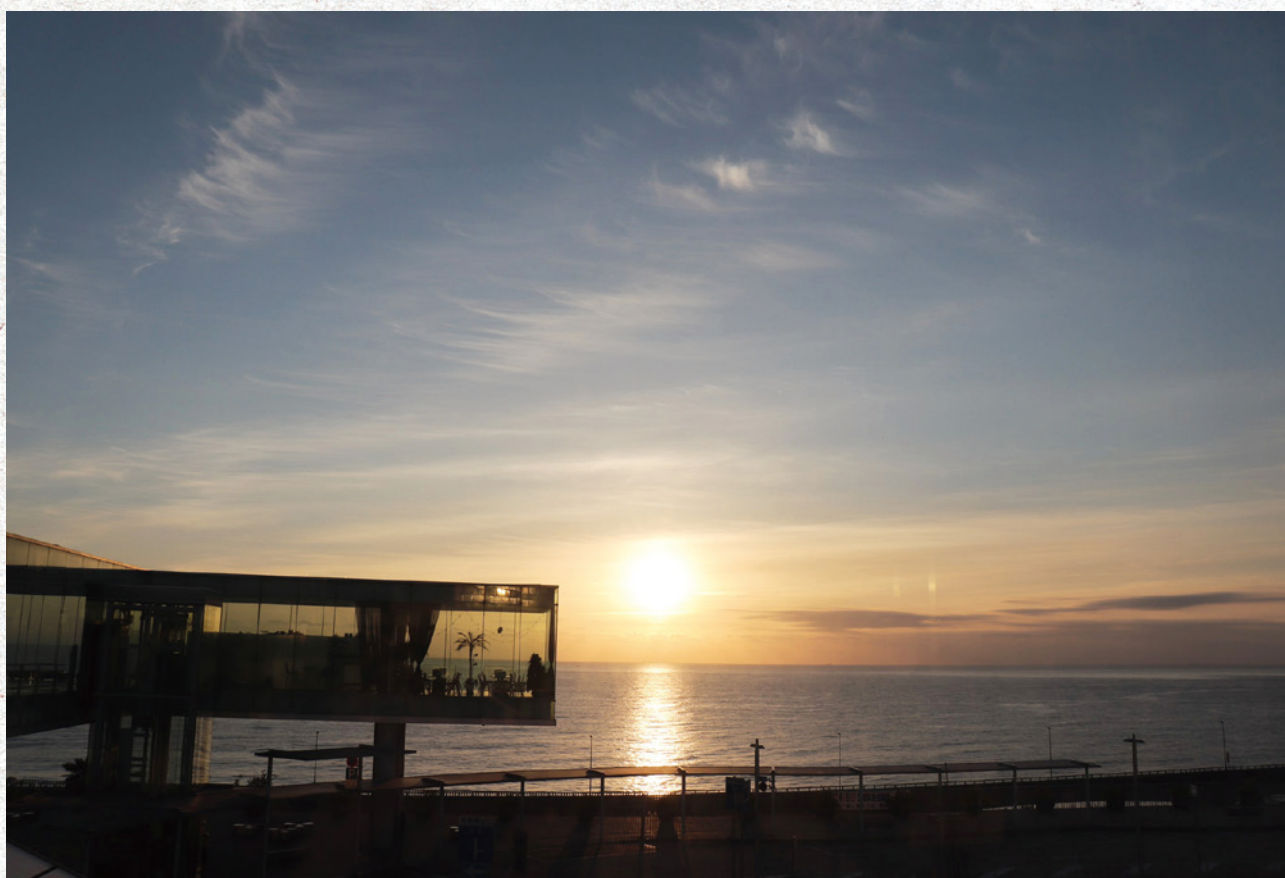
茨 歯 会 報

No.629

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

January
2022
令和4年

1





Contents

年頭のごあいさつ	1
柚 正幸	
森永 和男	
堀 憲郎	
横田 一郎	
理事会報告	6
会務日誌	8
地域保健委員会だより	11
医療管理委員会だより	16
専門学校だより	27
地区歯科医師会だより	18
高根 正敏	
保坂 栄勇	
寄稿	33
深谷 聖	

表紙写真について

日立駅改札から撮影した日の出です。
現在の駅舎は、日立市出身の妹島和世氏のデザイン監修のもとに設計され、2011年4月に完成しました。
グッドデザイン賞、鉄道で唯一の国際デザインコンペティション「ブルネル賞駅舎部門」の優秀賞を受賞するなど、世界の最も美しい駅舎の1つとして高く評価されています。

(社) 日立歯科医師会 佐藤 慶尚



新年のごあいさつ

茨城県歯科医師会

会長 榎 正 幸

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年6月に発足しました新執行部は、諸々の課題を抱えた中での船出となりましたが、「茨城県歯科医師会が令和の時代にどのように進むべきか」ということを常に念頭に置きながら会務を進めております。会務の推進については、会員の先生方、各地区歯科医師会より御支援・御協力を賜っておりますことに心より感謝いたします。本年も変わらぬご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、本年は「茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例」が施行されて12年目を迎えます。この条例は、歯と口腔の健康づくりが県民の健康づくりに果たす役割の重要性を踏まえ、県民の生涯にわたる歯と口腔の健康づくりに関し、その基本理念を定め、県、保健医療関係者、福祉関係者及び教育関係者等の責務と市町村及び県民等の役割を明らかにし、県民が豊かな生活を送ることに寄与することを目的としています。

本県の歯科に関する状況に目を向けますと、令和3年度よりフッ化物洗口の実施拡大に重点的に取り組み、着実に普及が進みつつありますが、全国的にみると実施率はまだまだ低い状況にあります。12歳児の平均むし歯数や罹患率は全国平均より高く、また成人の進行した歯周炎のある割合についても全国と比較してよい状況ではありません。本県の80才で20本以上の自分の歯を持つ者の割合は41.4%で、全国平均51.5%よりかなり低い状況（H27年：厚生省保険局より出典）にあるの

はこれらの要因が関連していると思われます。むし歯や歯周病等の歯科疾患による歯の喪失及び口腔機能の低下は、低栄養状態を招き、要介護状態につながるおそれがありますので、県民の健康寿命の延伸のため、歯科疾患の予防対策に積極的に取り組む必要があります。

今後は、学校の治療勧告などを受けても受診に至っていない学童をどのように導くのかも考えていかなければなりません。8020・6424運動の効果により残存歯数が増える傾向ではありますが、今後の課題として歯周病への対応も必須です。全身の健康と歯周病の関係が明らかになり、県民の歯周病に対する意識の向上が見られる一方、歯周病検診の受診率は依然として低く、未受診者へのアプローチや、政府の骨太の方針に定められている「全年代における歯科検診等の充実・普及」も課題です。

また私たちは、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築していく必要があります。そのためには各地区歯科医師会と市町村、医療関係者の連携を強化した体制づくりが重要です。

本会におきましても在宅歯科医療連携室の機能強化を図り、各地域の地域包括支援センターとの連携が有効に機能するよう努めてまいります。歯科医療と医療行政との連携・協調を推進し、歯科界全体が活性化するための努力も必要です。病診連携・医科歯科連携・がん連携等による周術期口

腔機能管理も進展して、専門的口腔ケアの重要性が認識されてきました。2025年問題（団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となるタイミングで引き起こされる様々な問題）や2040年問題（少子化による急速な人口減少と団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢者になることで高齢者人口が最大となり、日本社会が直面すると予想されている内政上の危機）などを見据え、健康長寿の延伸という県

民の幸福の向上を達成するべく様々な保健医療福祉の関係団体や県・市町村の行政機関等との連携を深め、歯科医療の一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

最後になりますが、“活力があり、県民が日本一幸せな茨城県”を目指し、また、今年一年が皆様にとりまして、良い年となりますようお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

茨城県歯科医師連盟

会長 森 永 和 男

新年明けましておめでとうございます。

日頃、茨城県歯科医師連盟に対し、ご協力を頂き誠に有難うございます。茨城県歯科医師連盟を代表して心から感謝申し上げます。

昨年の衆議院議員選挙にて私たち連盟が重点候補として推挙しておりました国光あやの先生が当選されたこと、すべて会員の先生方のお陰と改めて感謝申し上げます。しかし、なぜそんなに歯科医師会、歯科医師連盟あげて応援しなければならないのかと疑問に思われる先生がおられるかもしれません。

そもそも、歯科医師が行っている歯科医業は保険制度という国との約束のもとで国民の健康を国から託されている職業であります。まずこれをしっかりと会員の先生方に認識して頂けなければなりません。ある面では、国から保護されている職業なのです。結果としてこの担保に従って私たちは国民の健康に寄与しなければならない義務が生じてくるのです。ただ、ここで問題になるのが、国との約束が私たちにとって適切なのかを常

に見極めていく権利も生じてくるのです。常に正しい権利を主張しなければなりません。

この事を解決するために努力しているのが歯科医師連盟である事を理解して頂ければなりません。前にも述べさせて頂きましたが、国との約束のもとで、これを担保としていますのでまた制約も生じます。そのため厚労省との話し合いをするわけですが話し合いだけではなかなか解決出来ないのが現状です。最終的にこれを解決するためには政治決着が必要となります。すなわち、矛盾点を厚労省に示し、歯科医師会が交渉をするわけですが話し合いだけではなかなか解決に至ることはありません。それを達成可能にするために政治家に理解を求め、正しい方向に導いていくのが歯科医師連盟なのです。

茨城県では不幸にして過去の日本歯科医師連盟の不正事件から結果として茨城県歯科医師会と茨城県歯科医師連盟が峻別され、それぞれの道を歩んで参りました。その結果として連盟は選挙だけに限定され、歯科医師会の会員との連携が図られ

なくなってしまった感はぬぐいきれません。

そもそも、選挙活動は歯科医師連盟の使命である歯科医師の生活の基盤を盤石にするための一手段に過ぎないのです。安定して歯科医業を達成するためには国会議員、県議会議員の先生方に歯科の重要性を理解して頂き、それに向かって共に活動出来る環境を整えていくことです。これには常日頃のロビー活動が大切になってくるのです。

過去10年の会長としての経験から歯科医師会と歯科医師連盟が一体となって活動しなければ歯科医師会の発展につながらない事を痛感し、2年前に茨城県歯科医師連盟会長も兼ねさせて頂きました。結果として、長年の懸案でありました土浦口腔センターの駐車場、フッ化物問題等茨城県歯科医師会としての重要案件が戸井田議員始め、いば

らき自民党議員の働きで土浦口腔センター駐車場の拡張が決定し、またフッ化物問題でも5者協議会が発足し、この問題の足掛かりをつけることが出来ました。この後の進展は茨城県歯科医師会の努力次第となるわけです。このように茨城県歯科医師会と行政とのいろいろな問題を解決するために、その狭間を埋めていくのが茨城県歯科医師連盟の使命であり、活動であります。

茨城県歯科医師連盟なくして茨城県歯科医師会の発展なし。これが私の10年間の会長としての結論であります。

これからも会員の基盤を強固にし、歯科医師のステータスを確実にするため努力して参ります。ぜひ先生方のご協力、ご理解をよろしくお願いいたしまして年頭のあいさつと致します。



年頭所感

公益社団法人 日本歯科医師会
会長 堀 憲 郎

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態と向き合って2年が経過しました。この感染症は、「医療提供体制の維持と社会経済活動の維持のどちらを優先すべきなのか」という議論を提起し、効率性、財政面を重視した近年の社会保障政策、医療政策に警鐘を鳴らしたものと受け止める必要があります。我々は医療提供者の一員として、改めて国民の健康、生命と生活を守る立場で政策提言をしなくてはならないと考えます。

自覚症状のない感染者が増え、感染経路の不明な感染事例が増えていることから実態把握が難しくなっていますが、過去5回の内部調査によれ

ば、一昨年に引き続き昨年も歯科治療を介しての明らかな感染拡大の事例の報告はありませんでした。歯科の臨床現場は歯科医師やスタッフへの感染リスクが高いと言われる中で、日頃のレベルの高い感染防止対策を維持し、更に換気対策、予約調整等コロナウイルス感染への特段の措置を講じてきた結果と認識されます。臨床現場の皆様のご尽力に御礼申し上げます。

更に「歯科医師によるワクチン接種協力」も歴史的な対応となりました。歯科医師によるワクチン接種では、令和3年11月22日現在で、必要な事前研修の修了者は19,392名に上り、昨年10月末までに延べ2万8千名を超える歯科医師が出動し、

160万回を超える接種を行いました。数字の大きさよりも、コロナ治療の最前線と医療界全体が連帯する姿を、歯科の立場から実績として内外に示せたことは、次の世代に胸を張れる対応ではないでしょうか。

まだ本会の会務運営は、コロナにより抑制されたものにならざるを得ませんが、一昨年の秋に取りまとめた「2040年を見据えた歯科ビジョン」については、昨年6月に発足した新執行部において具体的な展開を進めています。

今年は健康保険法が制定された1922年から数えて丁度100年目になり、我が国の公的医療保険制度は、一世紀に亘る歴史をもつに至ります。この間、戦後のう蝕のまん延に対する歯科界挙げての予防活動や、30年を超えて継続している8020運動の成果により、国民の口腔環境は大きく変化しました。それに伴う国民の歯科医療に対するニーズの変化に応えるため、歯科界は新たな歯科医療の姿として「口腔機能の維持、向上をはかる歯科医療を目指す」という方向性をもつとともに、「歯

科医療と口腔健康管理の充実により、国民の健康寿命の延伸をはかり、元気な高齢者、働き手、支え手を増やし、人口減少問題にも貢献する」との明確な目標を有しています。その実現に向けた強い決意のもとで取りまとめたのが、この「2040年を見据えた歯科ビジョン」になります。

本執行部に設置した「歯科ビジョンの具体的展開に関する総合会議」で全体を俯瞰しつつ、17のチームで鋭意議論を深めており、この2040年を見据えた歯科ビジョンを20年後に向けた航海の羅針盤として、新しい1年においても、一貫性のある対応をしていきたいと考えます。

新型コロナウイルス感染症により「普通に生活ができることの貴重さ」を再確認した2年間でしたが、新しい年においては、国民の皆様、会員の皆様、関係者の皆様に、ひとつでも多く明るい話題、元気の出る話題をご提供できるよう、日本歯科医師会役職員一同全力で取り組んで参ります。皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。





年頭のごあいさつ

茨城県歯科医師国民健康保険組合

理事長 横田 一郎

明けましておめでとうございます。

日頃から組合の運営、事業にご協力ご理解をいただき感謝申し上げます。

国内では新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、少しずつではありますが、日常を取り戻しつつあると感じております。

Withコロナを見据え、付き合っていかなければなりません。

令和3年度は予定通り保健事業が行われています。

おめでたい新年ではありますが、色々と難問が出てきております。

コロナにより、膨大な国費が使われていますが、団塊世代が後期高齢者入りする2022年以降の数年間は、一時的に75歳以上の人口の増加率は高まり、また2025年には高齢者の人口は3500万人になり、総人口の約30%にあたる数になります。どのくらい医療費が使われるのでしょうか？

そして今年も、厚生労働省から令和2年度の医療費の動向について発表がありましたが、医療費総額は42兆2000億円という事で、コロナの影響により約1.4兆円の減少にはなっていますが、着実に毎年1兆円程増額になっております。

そんな中、国は補助金削減を実行しています。

調整補助金も再来年以降は未定です。

相反して、後期高齢者支援金分保険料、介護納付金分保険料は上がり続けております。当国保組合は少ない保険料で運営を続けております。65歳になると介護納付金分保険料は市町村に移って参りますが、その時、当国保組合の保険料の安さにびっくりするのではないのでしょうか。

受診率も高くなり高度な技術により、医療費は上がるのは当然だと思っております。国庫補助金の削減及び、医療費の増加に対応する為にも保健事業があります。症状が出てから病院に行くのではなく、健康な体のうち健康診断をして、早期発見が医療費削減、強いては保険料を上げない事によりつながっていくのではないのでしょうか。縮減に繋がります。

また、60歳位になると、二人に一人が癌に罹患すると言われております。今は毎年100万人が癌と診断されていますが、健康診断の成果で死亡率は年々下がっております。医療費、保険料、補助金、先生方をまず考えた組合運営に努めて参ります。そして毎年明るい正月を迎えられる事を願っております。今年も宜しくお願い致します。

理事会報告

第9回理事会

日 時 令和3年11月18日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 令和3年度小学校口腔衛生推進事業に係る協力依頼について

(5) 関東地区歯科医師会から日本歯科医師会への要望書提出について

(6) 各委員会報告について

医療管理委員会、広報委員会、地域保健委員会、社会保険委員会、専門学校

(7) その他

5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

高橋直子先生	土浦石岡地区	2種
	日大歯卒	承認
吉田幸司先生	土浦石岡地区	2種
	徳島大歯卒	承認
大畑啓子先生	土浦石岡地区	1種
	日大松戸卒	承認
廣瀬太一郎先生	つくば地区	2種
	明海大歯卒	承認
坂井圭子先生	西南地区	2種
	松本歯大卒	承認

(2) 茨城県歯科医師会会費免除規程の改正について

承認

(3) 会員の会費免除について

承認

(4) 茨城県歯科医師税務協議会委員の指名について

承認

(5) 児童虐待早期発見歯科PT委員の選任について

小林常務に一任

(6) 警察歯科医・海保歯科医の推薦について

推薦について承認

(7) 歯牙所見による個人識別・口腔内所見採取
のWEB講習会の企画案について
承認

今湊常務より口腔がんについての要望を追
加する

(8) 歯科保健の啓発活動の補助について（日立
歯科医師会）
承認

(13) 日本歯科医師会代議員・予備代議員選任に
係る会員への周知について
承認

(9) 令和3年度運営補助金の申請について（茨
城県歯科衛生士会）
承認

(14) その他
・ 常任委員会（情報管理委員会）委員の委
嘱について

(10) 歯科補綴物製作過程等の情報提供推進事業
への協力について
承認

飯島理事、堤理事、中井理事に決定
・ 令和3年度会員向け支援事業の検討につ
いて
前年通り行う

(11) 第10回MITO世界チョコレートフェスティ
バルへの協賛について
承認

【今後の行事予定について】

12月16日（木）16時から

第10回理事会

(12) 茨城県保健福祉部への要望書の提出につい
て
原案を承認

1月13日（木）16時から

第11回理事会（時間変更）

県歯会新年会（中止）



株式会社岩瀬歯科商会 と 株式会社ウチャヤマ は ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社に社名変更いたしました

改めまして、私たちはヘンリーシャインジャパンイーストです！

We try best! -for healthy and white teeth-

事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷1504-4	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市磯子区中原2-1-19 1F	TEL:045-770-4182
前橋支店	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡上堂支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
盛岡本宮支店	盛岡市本宮6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770
つくば営業所	つくば市花室940-6	TEL:029-863-0720
仙台支店	仙台市若林区荒井5-7-6	TEL:022-794-7066

会務日誌

- 11月18日 学校歯科・地域保健合同委員会を開催。事業の経過、各モデル市の状況、今後の進め方について協議を行った。
- 出席者 鶴屋副会長ほか12名
- 11月18日 関東信越国税局管内税務指導者協議会がホテルメルパルク長野にて開催され、第一部では管内各歯科医師会からの現況報告と、提出議題についての協議が行われ、その後日歯税務・青色申告委員会委員がインボイス制度への対応について講演された。
- 国税局担当官を交えての第2部では、国税局管内における税務の現況、税務諸問題と会員指導について協議が行われた。
- 出席者 中井理事ほか1名
- 11月18日 第6回広報委員会を開催。会報12月号の校正・編集及び校了までのスケジュール、来年度予算案提出の内容説明、レディースコーナー執筆者と依頼担当者の確認、干支寄稿者への依頼について各地区委員からの呼びかけ、会報1月号について協議を行った。
- 出席者 柴岡広報部長ほか5名
- 11月18日 第9回理事会を開催。入会申込書の受理、茨城県歯科医師会会費免除規程の改正、会員の会費免除、茨城県歯科医師税務協議会委員の指名、児童虐待早期発見歯科PT委員の選任、警察歯科医・海保歯科医の推薦、歯牙所見による個人識別・口腔内所見採取のWEB講習会の企画案、歯科保健の啓発活動の補助について（日立歯科医師会）、令和3年度運営補助金の申請について（茨城県歯科衛生士会）、歯科補綴物製作過程等の情報提供推進事業への協力、第10回MITO世界チョコレートフェスティバルへの協賛、茨城県保健福祉部への要望書の提出、日本歯科医師会代議員・予備代議員選任に係る会員への周知について協議を行った。
- 出席者 榊会長ほか17名
- 11月20日 県理学療法士会設立50周年記念式典・記念講演会がホテルレイクビュー水戸にて開催された。
- 出席者 榊会長
- 11月21日 スタッフセミナーを茨歯会館にて開催。PS（患者様満足）向上のためにについて元日本航空客室乗員訓練部教官・政府専用機初代担任教官 小原孝子先生が講義された。
- 受講者 25名
- 11月21日 第7回医療管理委員会を開催。電離放射線検査について協議を行った。
- 出席者 中井医療管理部長ほか10名
- 11月25日 第1回防災危機管理運営小委員会を開催。委員長に櫻川次郎氏を選出し、委員会年間事業計画、警察歯科協議会（講演）の運営、災害時備蓄品の確認について協議を行った。

出席者 大字副会長ほか14名

- 11月26日 都道府県事務長事務連絡会がWEB会議として開催され、令和2年度歯科医師会職員互助会決算、歯科医師会職員福祉年金決算、都道府県提出議題について協議が行われた。

出席者 村田事務局長

- 11月27日 災害歯科保健医療体制研修会が2日間にわたり日歯会館よりWEB形式で開催され、関係機関や関係団体を交えて、講義形式の研修及び実災害を想定した訓練が行われた。

受講者 2名

- 11月28日 いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会主催講演会をハイブリッド形式で開催。東京歯科大学 口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室教授の武田友孝先生が「スポーツと歯科・より安全なマウスガードの必要性」について、元ラグビー日本代表 東芝ブレイブルーパス東京 アンバサダーの大野均氏が「ゴール達成に向けて」～目標設定の大事さと、それに向けたアクション～と題してそれぞれ講演された。

参加者 会場51名 WEB 34名

- 12月 1日 県医療推進協議会がWEB会議として開催され、第16回国民医療推進協議会総会の決議と同様の決議の採択ほかについて協議が行われた。

出席者 榊会長

- 12月 2日 第7回地域保健委員会を開催。研修会の準備等を行った。

出席者 北見地域保健部長ほか12名

- 12月 2日 第3回厚生委員会を大洗町内で開催。茨城歯科医学会、第42回地区対抗親善ゴルフ大会、第25回地区対抗ソフトボール大会について協議を行った。

出席者 沼田厚生部長ほか7名

- 12月 2日 禁煙支援研修会をWEB形式で開催し、「新型コロナと喫煙・生活習慣病～コロナ禍の医療現場から～」と題して中央内科クリニック院長の村松弘康先生が遠地より講演された。

受講者 35名

- 12月 2日 第1回総務委員会を開催。電話相談ガイドラインの確認、日頃の電話相談業務での問題について協議を行った。

出席者 村居総務部長ほか11名

- 12月 3日 地域医療連携推進懇談会運営委員会がWEB会議として開催され、地域医療連携推進懇談会運営委員会の委員及び幹事の変更ほかについて協議が行われた。その後の懇談会では3題の講演が行われた。

出席者 今湊常務

- 12月 6日 第15回県新型コロナウイルス感染症対策協議会がWEB会議として開催され、感染拡大に備えた対応等について協議が行われた。

出席者 榊会長

- 12月 7日 第1回四師会災害等連携協定ワーキンググループ会議がWEB会議として開催され、第8回JMAT茨城研修会について協議が行われた。

出席者 村居常務ほか2名

- 12月 7日 第7回社会保険正副委員長会議を開催。第8回委員会、疑義、審査、理事会、指導について協議を行なった
出席者 大野社会保険部長ほか2名
- 12月 7日 第3回日本歯科医師会産業歯科保健ワーキンググループがWEB会議で開催され、産業歯科保健の普及啓発ツールの制作について協議が行われた。
出席者 北見常務
- 12月 8日 第8回社会保険委員会を開催。疑義について協議を行った。
出席者 大野社会保険部長ほか21名
- 12月 9日 新規に指定された保険医療機関に対する個別指導が関東信越厚生局茨城事務所にて行われた。
対象医療機関数 5
- 12月15日 日学歯第104回臨時代議員会が新宿区「TKP市ヶ谷ホール」にて開催され、代議員会議長・副議長の選任ほかについて協議が行われた。
出席者 榊日学歯代議員ほか1名
- 12月15日 本会で実施している無料職業紹介事業に対し、職業安定法等に基づき、茨城労働局より需給調整指導官が訪問し、定期指導が行われた。

「第42回 全国歯科保健大会」報告

地域保健委員会 土屋 雄一

令和3年11月13日（土）、宮崎県宮崎市メディアキット県民文化センターにおいて、「いきいき歯つらつ健康長寿—神話のふるさと・スポーツランド宮崎へようこそ—」のテーマのもと、第42回全国歯科保健大会が開催されました。来場者は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から定員の半数に制限されました。昨年度は、コロナ禍のため福井県で行われる予定であった大会が中止となりましたので2年ぶりの開催となりました。本会からは、北見英理地域保健担当常務理事、地域保健委員会から土屋が出席いたしました。

はじめに、オープニングアトラクションとしてみやざき犬とよ防さんのコラボによるダンスパフォーマンスが行われました。宮崎県シンボルキャラクターのみやざき犬とよ防さんのダンスに会場の空気も和やかなものとなりました。



続いて、高橋紳八大会実行委員会副会長（宮崎県歯科医師会副会長）による開会宣言が行なわれました。

次に、重城正敏大会実行委員会委員長（宮崎県

歯科医師会会長）より「新型コロナウイルス感染症の蔓延下にあって、参加人数の制限やライブ配信の活用、消毒、換気、検温等により、感染対策に万全を期して安心安全な大会といたします。歯や口腔の健康が全身の健康にも深く関わっていることが分かっています。健やかなお口が皆様の健康寿命の延伸につながることで、また、コロナ禍においては、感染リスクや重症化リスクを下げるためにもお口のケアが欠かせないことを発信してまいります。大会のサブテーマの通り、宮崎県は古事記や日本書紀に記された、神々の物語にまつわるゆかりの地が多く存在するパワースポットとして人気の観光地です。また、プロ野球やサッカーのキャンプをはじめ、多くのプロ・アマチュアスポーツチームの合宿地に選ばれているほか、宮崎牛、マンゴーや焼酎、チキン南蛮など、魅力あふれる食文化に恵まれています。ぜひご賞味いただきたいと願っています。新しい形式を取り入れた本大会が健康寿命の延伸と口腔健康管理について議論を深める契機となり、実り多い大会となることを祈念します。」との挨拶がありました。そして、後藤茂之厚生労働大臣（伊原和人厚生労働省医政局局長が代理出席）、堀憲郎日本歯科医師会会長、河野俊嗣宮崎県知事、戸敷正宮崎市長の挨拶が続きました。

歯科保健事業功労者表彰では、厚生労働大臣表彰（多年にわたり歯科保健事業に携わり、地域における公衆衛生の向上のため著しい功績のあった



個人および団体の表彰) 個人56名と1団体、日本歯科医師会会長表彰(地域社会の歯科保健衛生の普及向上、改善および意識高揚等、実践活動に著しい功績のあった者、きわめて困難な条件の下で献身精励、顕著な功績があった個人および団体の表彰) 個人52名と2団体に対し、表彰が行われました。茨城県歯科医師会からは、間宮高弘先生が厚生労働大臣表彰、岡崎恵一郎先生が日本歯科医師会会長表彰を受けられました。お二人の先生方、誠におめでとうございます。



次に、次期開催県である群馬県の武藤幸夫健康福祉部部長が挨拶を行いました。

続いて、特別講演として、「私の柔道哲学」と

題して、宮崎県出身で2000年シドニーオリンピック100キロ級金メダリストで、21年東京オリンピックまで全日本男子監督を務め、現在東海大学体育学部武道学科教授である井上康生氏による講演が行われました。

最後に、いつまでも美味しく食べ、楽しく会話し、活動的な生活を送るために、歯と口腔の機能を健康に保つことの重要性を発信しました。「いま、世界中の人々が新型コロナウイルス感染症の脅威と戦っているなか、人々の生活様式は大きく変わり、変化に伴う課題も生まれました。歯科保健の観点では、マスク着用による口腔乾燥や、“受診控え”によるむし歯の増加、会話の減少によるオーラルフレイルの進行など、口腔内環境の悪化が問題になっているほか、最近の臨床研究で“歯周炎は新型コロナウイルス感染症の重症化リスクと関連している”ことが報告されるなど、コロナ禍においても口腔健康管理が重要であることが認識されつつあります。私たちは、歯科保健推進の歩みを止めることなく、安心安全な歯科医療提供体制の中で皆様の口腔健康管理を支援し、健康寿命の延伸と心豊かな社会の構築に寄与します。」などとする大会宣言(日本歯科医師会山本秀樹常務理事)を採択し、次回開催県である群馬県歯科医師会村山利之会長に大会旗を引き継ぎ、上窪高志大会実行委員会副委員長(宮崎県歯科医師会副会長)による閉会宣言にて第42回全国歯科保健大会は閉会となりました。



タバコ対策・生活習慣病対策歯科研修会

地域保健委員会 保坂 栄勇

12月2日（木）呼吸器内科専門医で東京都開業、中央内科クリニック院長の村松弘康氏を講師に迎え『新型コロナと喫煙・生活習慣病～コロナ禍の医療現場から～』と題しWEB講演会が開催された。村松氏は東京都医師会タバコ対策委員会委員長、現アドバイザーとして以前よりタバコ対策に取り組まれている。この背景には平成28年厚生労働省の報告書、通称タバコ白書に全身10か所のがんや22の疾患と喫煙の因果関係がエビデンスレベル1（確実）とされたこと。またタバコ規制枠組み条約（FCTC）という国際条約が存在し、タバコ規制は人類が優先的に取り組まなければならない課題のひとつとして論じられているからである。そしてオリンピック開催前にIOCとWHOの協定に基づき改正健康増進法、東京都受動喫煙防止条例が制定され令和2年4月から多くの施設内禁煙となった。さらに職場における受動喫煙対策が追加され企業が求人の際に明示することが義務づけられた。



さてコロナ禍の医療現場から喫煙と新型コロナウイルス感染症について言えることは、喫煙はすべての呼吸器感染症の増悪因子であるばかりでなく新型コ

ロナウイルス感染症にも罹患しやすくなる。新型コロナウイルスは細胞表面の2つの特定の酵素を利用して細胞内に侵入し感染が成立するが、その一つであるアンギオテンシン変換酵素Ⅱ（ACEⅡ）が喫煙で増加することが判明されている。特に喫煙は気道においてACEⅡ発現が増加し、もう一つの発現酵素TMPRSSも増加するため喫煙者は禁煙者の約2倍の頻度で重症化することが報告されている。またCOPD（慢性閉塞性肺疾患）や肺の機能障害も新型コロナウイルス感染症を重症化することは周知されているが、厚労省の新型コロナウイルス感染症診療の手引き第5版のなかでは喫煙はCOPDとは別の独立した重症化因子として挙げておりHIV感染やステロイド投与より明確なエビデンスを持っている。そのため軽症者の自宅療養の条件のなかにも同居者に喫煙者がいないことが記載されている。また、国内外の研究によると喫煙者はワクチン接種したにもかかわらず抗体価が上昇しづらいため、ブレイクスルー感染のリスクが高いことも確認されている。

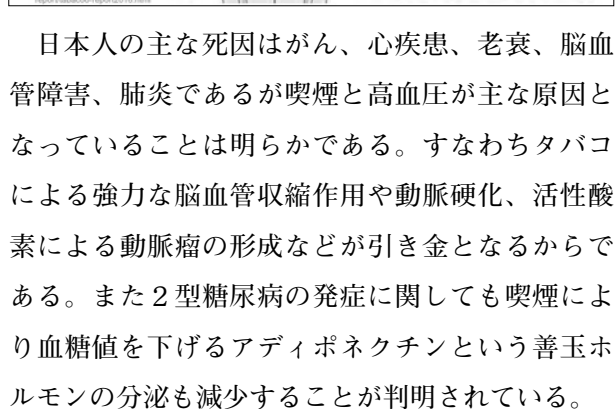
新型コロナウイルス感染症の重症化因子

東京大学 保健・健康推進本部 保健センターHPより一部改変 <http://www.hc.u-tokyo.ac.jp/covid-19/youth/>

- ・高年齢者
- ・基礎疾患を持つ者
（心血管疾患、糖尿病、高血圧、
慢性呼吸器疾患、悪性腫瘍など）
- ・男性
- ・喫煙
- ・重度の肥満（BMI≥40）

一般にタバコは嗜好品とされているのになぜやめることができないのか？タバコに含まれるニ

喫煙により発症率が増加する疾患として10種類のがん、すなわち頭頸部領域（鼻腔・副鼻腔、口腔・咽頭、喉頭）から食道、肺、胃、肝臓、すい臓、膀胱、子宮頸部にいたるがんがエビデンスレベルで証明されている。またその他の疾患としても脳卒中、虚血性心疾患、歯周病、COPD、腹部大動脈瘤、2型糖尿病、動脈硬化や早産、低出生体重児などが生じる。



最近流行してきた電子タバコや加熱式タバコについてはあたかも有害性が少なく受動喫煙も無いような誤解を生じているが、これらの新型タバコも有害であり受動喫煙も生じることが報告されている。日本では加熱式タバコが主流で有害成分の量が少ないと宣伝されているが、実は有害成分を多く排出しニコチンの血中濃度が上昇するため、ニコチンの依存性が高く禁煙成功率が低いといわれている。また加熱式タバコは粒子が軽いので拡散しやすく受動喫煙に関しても起きるとされている。新型タバコに含まれるニコチンは通常タバコに含まれるニコチン同様にCOPDを誘発したり気道粘膜上皮の繊毛運動を抑制し様々なサイトカインを発現させ炎症、組織破壊に係わったり、新型コロナウイルス感染をも増加することも報告されている。また最近は大麻や覚せい剤入りの電子タバコが蔓延し違法薬物の温床となるなど社会問題となっている。したがって新型タバコも含めて禁煙することが大切で、ニコチンへの依存が強い患者には我慢する禁煙や本数を減らす節煙は勧めら

れず、禁煙外来での薬物療法が必要となる。禁煙外来には保険が適用され、3か月に5回受診し、費用は1日約230円である。また、禁煙治療アプリ Cure App SCという心理療法アプリを併用した最新の薬物療法は1日当たり45円という費用で済み、これらの禁煙外来の費用は、タバコ代1日1箱500円と比較しても格段に安価ですむため喫煙者にとってはぜひ検討すべきである。

今回の講演を聴講し、我々歯科医師はヘルスケアプロバイダーの一員として多職種と連携しタバコ対策により積極的に参加し、喫煙と関連が高い口腔癌の早期発見に係わっていくこと、また学童の歯科健診などにおいても歯肉の色素沈着の有無

など、子供の受動喫煙についても一層注意喚起していくことが必要と思われた。

新型タバコもやめて卒煙しましょう！

ニコチンへの依存が強い方には
我慢する禁煙や本数を減らす節煙は
お勧めできません



体内のニコチンが枯渇した状態で吸う
ため「やっぱり美味しい！」と感じて
心理的依存(未練)が残ります

医療+管理委員会 だより

関東信越国税局管内税務指導者協議会

医療管理委員会 奥田 雅人

令和3年11月18日、長野県にて関東信越国税局管内税務指導者協議会が開かれました。私と中井部長が茨城県歯科医師会の代表として参加してきましたので報告します。



この協議会は毎年茨城、栃木、埼玉、群馬、長野、新潟の持ち回りで行っているのですが、去年はコロナの影響で中止。2年ぶりの開催でした。今回の会場は長野県「ホテルメルパルク長野」白鳳の間。14時から17時が参加歯科医師会の協議、講演、国税局との協議でした。今まではこの後、懇親会を開いていたのですが、今回は中止となりました。

長野県歯科医師会副会長の大滝様の開会の宣言

のあと、長野県歯科医師会会長の伊藤先生の挨拶、その後、管内各歯科医師会からの現況報告、各歯科医師会提出議題に対する各県の回答について協議しました。

主な内容としては、

- 1) インボイス制度への対応
- 2) キャッシュレス決済、マイナンバーカードによる顔認証制度の進捗状況
- 3) 各県のWEB会議の際の日当
- 4) 個人事業主会員と、法人会員の歯科医師会費の取り扱い
- 5) 補助金、助成金の活用の実態

茨城県として、2)を提出しました。

そのあと、日本歯科医師会税務・青色申告委員会委員長の中村様から、1)についての講演がありました。結論から言うと個人開業の歯科医院では、インボイス制度の影響はあまり考えなくてもいいのではないかとのことでした。影響があるとなれば、事業者に対する課税売上がある場合、または企業から社員の健康診断を受託しているケースくらいであろうと考えている。むしろ、個人の技工所が大手に淘汰される可能性の方が心配と思われる。

2)については、キャッシュレスは手数料がネックと思うが、現在は1.5%くらいに下がってきている。長い目でみると避けては通れないのではないかと。使用によるポイントの問題も容認の方向で行きそうである。マイナンバーによる顔認証に

についても同様である。国としてDX（デジタルトランスフォーメーション）を進める勢いに変わりはない。しかし、半導体不足の影響でNTTの方でいい顔をしないケースがある。など、詳しい説明がありました。

第2部として、関東信越国税局課税第一部個人課税課課長の篠原様から申告に関しての注意点、国税局管内に於ける税務の現況、税務諸問題と会

員指導について説明がありました。

来年度は群馬県の主管で開くことが全会一致で決まり、解散となりました。税務というなかなかなじみがない、また他人には詳しく聞くことができないにくい内容ではありましたが、他の歯科医師会との情報共有、忌憚のない意見等、大変有意義な協議会でした。

令和3年度第1回スタッフセミナー報告

医療管理委員会 重藤 良平

令和3年11月21日、各地区の医院から25名の参加をいただき、茨城県歯科医師会館にてスタッフセミナーが開催されました。

開催に先立ち榊正幸会長よりご挨拶をいただいた後、医療管理委員会中井巳智代部長からは「歯科医院にとっても顧客満足度は技術のみならずスタッフの対応なども大いに左右するところであり、皆さん今回のセミナーで最高のおもてなしはどういうものなのかを学んで下さい。」と、このセミナーの趣旨が説明されました。



講師には前回から引き続き小原孝子先生をお招きし、他2名のアシスタントの先生にもお手伝いいただきました。

小原先生は、日本航空客室乗務員として約20年間勤務され、その後客室乗務員訓練部教官、政府専用機初代担当教官などの管理職を歴任されました。

現在は日本マナーOJTインストラクター協会選定講師として多方面でご活躍され、自治体やホテル、銀行、その他様々な企業での講師経験がある方です。

昨年度のセミナーは折からの新型コロナウイルス災禍の影響でWEB開催となりましたが、久しぶりの対面とあり、小原先生の「皆さん緊張をほぐしましょう。力を抜いてマスクの下で最高の笑顔で」のお言葉で10時から15時まで次のような内容でセミナーが開催されました。



「PS（患者様満足）向上研修より一層の患者様満足のために」

1. 医療従事者に必要な接遇マナー

歯科スタッフの接客・接遇

一般的なサービス業と歯科における接客の違いは痛いなどの「負の感情」を持って来院することである。

5つの不（負）の感情～期待値と評価

「負の感情」を持った患者様と十分コミュニケーションをとる（相手の言い分を良く聞いてあげる）事が大切である。

チームで働く～チームワーク

患者様に満足してもらい「ありがとう」と言われるには、一人で働いているのではなく全員で働くという気持ちをもつことである。

マナーとは？

思いやりの心を相手に伝わるように行動（形）に表すことである。

PS（患者様満足）の5原則

表情	親和性（親しみやすさ）
挨拶	オールマイティ
身だしなみ	共感性（私と同じ）
話し方	共感性（イメージ通りか）
仕草・態度	受容性（受け入れられる）

人に好かれる3性質と「承認」

承認とは患者様満足度（Patient Satisfaction）

2. 第一印象の重要性

瞬間印象と本質印象

本質印象（2～3分）視覚≧聴覚≧話の内容よりも瞬間印象（0.6秒～6秒）が大切である。相手にどう見えているのか（第三者満足）を考える。

我流なオシャレをすることは自己満足である。

3. マナー5原則

①表情

笑顔が大事、笑顔は親近感や安心感を与えます。（表情アップトレーニング）

②挨拶

美しい姿勢（美しい姿勢の練習）

患者様のパーソナルスペースに入るために正しい対応が必要。安心・安全を感じていただく「丁寧で温かい」対応を



③身だしなみ

身だしなみのチェックポイントは清潔・清潔感、機能性、周囲との調和である。

相手にどう見えているか（第三者満足）を考える。

④話し方

感じの良い話し方のコツ

敬語、クッション言葉、肯定的否定＋代理提示、依頼文・依頼形で「丁寧な言葉」と

「復唱」することの大切さ

⑤態度

どのような環境の中でも、患者様のおっしゃりたい事を想定し、明るく承りご希望に沿った対応をしていく事

4. 電話対応

①電話対応6つのルール

3コール以内に電話に出る

最初の名乗りは明るく、優しい「笑声」できちんと

相手を待たせない

いきなり本題に入らない

連絡事項は正確に

終わりの挨拶は丁寧に

（一般的な電話対応をペアで実施）

②クレームのほとんどは無言のクレームである

クレーム対応の手順

お詫びする（初期謝罪～不快な思いをさせたことに対して）

患者様の話を聞く（傾聴）

患者様の気持ちを理解する（心情理解）

事実確認

解決案・代替え案の提示

お詫びと感謝

5. まとめ

本日の振り返り、自身の課題や解決方法はみつかりましたか？そして、それは何でしたか？どのように解決し、今後に活かしますか？

今回のセミナーは前年度のコロナ災禍によるWEBセミナーから久々の対面セミナーとなりました。講師の小原先生におかれましても、対面での指導は未だにソーシャルディスタンス等色々な問題もある中で、参加されたスタッフに分りやすく丁寧にご指導して下さいました。参加者も10時のセミナー開始時より、進行していく中で慣れてきたのか不安な顔から集中し、真剣な顔つきになっていくのがわかりました。講師の小原先生の小気味良い話し方も相まってリラックスしてセミナーを受講できたようでした。今回受講されたスタッフの医院の方々も受講生の変化に気が付くと思います。患者様の満足度は決して技術だけではなくそれを作り出す歯科医師、衛生士、技工士、アシスタントスタッフ、皆のチームワークにより一層の向上につながると感じました。

まだスタッフを参加させていない医院の方は、決して肩ひじ張るようなセミナーでは御座いませんで次回のスタッフセミナー参加を是非ともご検討してみてはいかがでしょうか？



公益社団法人 茨城県歯科医師会様
PS(患者様満足)向上研修 講師所感

研修機関	公益社団法人 茨城県歯科医師会	講師名	講師:小原孝子 アシスタント:小椿まゆみ
実施日	2021 年 11 月 21 日(日)	研修会場	茨城県歯科医師会館 本館 3 階 講堂
受講対象者	歯科医院スタッフ	受講者数	女性 25 名

全体所感	標記の研修を実施しましたので、以下にその概要を報告致します。 記 《 実施日時 》 2021 年 11 月 21 日(日) 10:00～15:00 (昼休憩1時間含む) 《 研修目的 》 PS(患者様満足)を達成するために 1. 当事者意識を持ち、 2. 実践・達成するための方法や行動をセッション等を通じて具体的に考える。 研修冒頭講師より、研修の目的である『PS を実践・達成するための方法』について解説した。例えば、安心感や信頼感を伝える『笑顔』も、「しているつमりの笑顔」ではなく、「相手にきちんと伝わる笑顔」が求められる。 それを実践するには、ポイントやコツを押さえた継続性あるトレーニングが必須であり、本日の研修を通じて、具体的に学んでいただきたい旨をお伝えした。 *特筆事項のあったカリキュラムは以下の通り 1. 医療スタッフに必要な接客 歯科医院へは多くの場合、「痛い」「辛い」「不安だ」といった『負の感情』を抱えて来院する患者様が殆どであることから、そのような患者様の不安を少しでも和らげる「コミュニケーションスキル」をまず理解いただいた。 「自分は患者様から見て良いスタッフだと思われると思うか？」という問いかけに対し、「思われている」と手を挙げたのは2名のみであった。 強い承認欲求を持って来院される患者様に対し、コミュニケーション力を上げ、常に患者様満足(PS5原則)を念頭に置いて接遇することの大切さを伝え、大きく頷く方が散見された。 2. 表情の改善とお辞儀練習 マスクの上からでも分かる『明るい笑顔』が、コミュニケーションにおいて必要不可欠であり、第一印象にも大きな影響を与えることを事例を挙げて説明した。 その後、全員で起立し、講師の説明に従い3種類の表情筋トレーニングを実施した。トレーニング後は、それまでのやや硬い面持ちから表情が和らぎ、自然な笑顔を見せる方が増えた。 お辞儀については、講師が正しい立ち姿勢と3種類のお辞儀について見本を示し、解説した後に、全員で起立し『分離礼で敬礼する練習』を全体/ペアで実施した。 「首や肩が前傾姿勢」「反り腰である」など、各々の立ち方の癖を講師が巡回しながら適宜アドバイスをを行った。また、研修後の修了証授与式では、見違えるほど綺麗なお辞儀を実施する受講者も見られた。
------	---

3. 身だしなみ

『身だしなみチェックリスト』に沿ってセルフチェック後、ペアチェックを実施した。

*全ての項目に○が付いた受講生は以下の5名であった。

○藤様・○倉様・井○様・○野様・○藤様

*一つの項目のみに×がついた受講生は以下の9名であった。

○野様・伊○様・岩○様・○山様・谷○様・○野様・篠○様・○本様・○宮様

靴の汚れによる「足元」や「目にかかる長さの前髪」の項目に対し、×を付ける受講者が多かった。

講師が数名の受講生に対し、髪型をどのように改善すべきかデモンストレーションを行った所、興味深く注視していた。髪型については、休憩時間に講師に個別に質問して来る方もあり、関心の高さが感じられた。

自分が「第三者視点でどのように見られているか」という気づきのきっかけとなったと史料する。

4. 実践練習「電話対応」

電話対応の6つのルールを解説した後、受電と掛電の電話対応ロールプレイを、一定の距離を保ち、椅子を背中合わせにしてペアで練習した。

各クリニックの第一印象を決める「第一声」については特に「笑声」「滑舌」を意識しながら実施するようお伝えした。

ロールプレイの練習後には、上手な電話対応者として、○口様・岡○様ペアと○藤様・○野様ペアに壇上へ上がり、発表をしていただいた。

聞いていた方からは、「優しく寄り添った話し方が良い」「声のトーンが聞き取りやすい」等の感想が挙がった。

普段行っている電話対応を客観的な視点で見ることにより、当事者意識の向上に繋がったと思われる。

5. クレーム対応

クレーム対応については、共感力を発揮し、相手の話をしっかりと聴き、まずは相手の主張をきちんと受け止めることが大切である。

基本的な対応手順としては、以下の6点を解説した。

- ①不快な気持ちにさせたことへのお詫び(初期謝罪)
- ②患者様の話をしっかりと聞く(傾聴)
- ③患者様の気持ちに寄り添い理解する(心情理解)
- ④冷静な事実確認
- ⑤解決案、代替案の提示
- ⑥お詫びと感謝

基本的なクレーム対応の手順を理解した上で、日頃起こったクレーム事例をスタッフ間で情報共有し、対処方法を常にイメージトレーニングしておく必要性を伝えた。

6. まとめ

研修最後に、今回の研修を受講して、「自身の課題や解決方法は見つかったか」「それをどのように活かすか」の2点についてテキストへ記入していただき、2名の方に発表していただいた。

発表内容は以下の通り。

- ・「笑顔や笑声について、頭では分かっているが、きちんと定着していなかった。クレーム対応も苦手意識があったが、今後はお客様に感謝の気持ちを持って、

	相手に寄り添った対応をしていきたい」(○倉様) ・「マスク生活が続き、笑顔は相手から分からないだろうと気を抜きがちだが、目元でしっかりと表現できることが分かったので、実践していきたい。 クレーム対応や電話対応も、基本的なことを忘れずに改めて意識していきたい」(○野様) 以上のような発表から、本研修を通じて、医療従事者として患者様から求められる『接客マナー』の重要性について再認識し、当初の研修目的である「当事者意識を持ち、実践・達成するための方法や行動を具体的に考える」という意識づけが出来たと思料する。																						
受講者の姿	・研修開始時は、緊張感からか硬い表情を見せる方が散見されたが、徐々に周囲とのコミュニケーションが深まるに連れ緊張感が和らぎ、大きく頷いたり、朗らかな笑顔が出るなど、表情や態度が変化した。 ・全体的な傾向としては、「しっかりと前を向いて傾聴する」「真面目に各ワークに取り組む」など、医療スタッフとして求められる主体性と責任感の高さを感じられた。今回学んだことを、明日からの業務に十分活かしていただけることを期待したい。 以下、受講姿勢等について記載する。(敬称略／名簿順) <table border="1"> <thead> <tr> <th>受講者名 (地区名)</th><th>受講姿勢/気づいた点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. ○藤 ○○美 (西南)</td><td>「立ち姿が良い」と指名され、舞台に上がった。講義中も常に前を見て、熱心に頷く姿が印象的だった。</td></tr> <tr> <td>2. ○野 ○菜 (西南)</td><td>元気で明るく、積極的に挙手していた。髪質が美しいボブであったが、前髪が顔にかかるため、スプレー等で固めるよう研修中に指導した。</td></tr> <tr> <td>3. ○本 ○紀○ (西南)</td><td>午前中、体調不良(腹痛)により一時席を外していたが、戻った後は問題なく受講していた。自然な優しい笑顔で表情のワークを行っていた。</td></tr> <tr> <td>4. 井○○ (水戸)</td><td>講師の方に身体を向け、終始熱心に傾聴していた。身だしなみチェックでは、全部に○を付けていた。</td></tr> <tr> <td>5. ○野 ○美 (水戸)</td><td>温かみのある笑顔が出ていた。両サイドの前髪が一部顔にかかっていたため整え方を助言したが、素直に聞き入れていた。</td></tr> <tr> <td>6. ○倉 ○紀子 (水戸)</td><td>基本接客用語の練習時には大きな声を出し、真剣に取り組んでいた。姿勢がよく、指名され壇上へ上がったが、そこでも綺麗なお辞儀が出来ていた。身だしなみチェックでは全てに○が付いていた。</td></tr> <tr> <td>7. ○宮 ○○ (水戸)</td><td>笑顔ワークでは、非常に綺麗な明るい笑顔が出ていた。「お客様へ常に親身に接しているか」という質問に対し、真すぐに挙手していた。髪の色をワントーン落とすと、更に落ち着いた印象になる。</td></tr> <tr> <td>8. ○野 優○ (東西茨城)</td><td>挨拶の練習時には大きな声で取り組んでいた。お辞儀をする際には首から下がりやすいため、気を付けると良い。</td></tr> <tr> <td>9. 稲○ ○奈 (つくば)</td><td>常に足を綺麗に揃えて受講していた。当初は自信が無い表情であったが、講師に姿勢を褒められた後は表情が明るくなり、真剣さも更に増していた。</td></tr> <tr> <td>10. ○沼 ○美</td><td>テキストが文字で一杯になる程、多くのメモを取っていた。</td></tr> </tbody> </table>	受講者名 (地区名)	受講姿勢/気づいた点	1. ○藤 ○○美 (西南)	「立ち姿が良い」と指名され、舞台に上がった。講義中も常に前を見て、熱心に頷く姿が印象的だった。	2. ○野 ○菜 (西南)	元気で明るく、積極的に挙手していた。髪質が美しいボブであったが、前髪が顔にかかるため、スプレー等で固めるよう研修中に指導した。	3. ○本 ○紀○ (西南)	午前中、体調不良(腹痛)により一時席を外していたが、戻った後は問題なく受講していた。自然な優しい笑顔で表情のワークを行っていた。	4. 井○○ (水戸)	講師の方に身体を向け、終始熱心に傾聴していた。身だしなみチェックでは、全部に○を付けていた。	5. ○野 ○美 (水戸)	温かみのある笑顔が出ていた。両サイドの前髪が一部顔にかかっていたため整え方を助言したが、素直に聞き入れていた。	6. ○倉 ○紀子 (水戸)	基本接客用語の練習時には大きな声を出し、真剣に取り組んでいた。姿勢がよく、指名され壇上へ上がったが、そこでも綺麗なお辞儀が出来ていた。身だしなみチェックでは全てに○が付いていた。	7. ○宮 ○○ (水戸)	笑顔ワークでは、非常に綺麗な明るい笑顔が出ていた。「お客様へ常に親身に接しているか」という質問に対し、真すぐに挙手していた。髪の色をワントーン落とすと、更に落ち着いた印象になる。	8. ○野 優○ (東西茨城)	挨拶の練習時には大きな声で取り組んでいた。お辞儀をする際には首から下がりやすいため、気を付けると良い。	9. 稲○ ○奈 (つくば)	常に足を綺麗に揃えて受講していた。当初は自信が無い表情であったが、講師に姿勢を褒められた後は表情が明るくなり、真剣さも更に増していた。	10. ○沼 ○美	テキストが文字で一杯になる程、多くのメモを取っていた。
受講者名 (地区名)	受講姿勢/気づいた点																						
1. ○藤 ○○美 (西南)	「立ち姿が良い」と指名され、舞台に上がった。講義中も常に前を見て、熱心に頷く姿が印象的だった。																						
2. ○野 ○菜 (西南)	元気で明るく、積極的に挙手していた。髪質が美しいボブであったが、前髪が顔にかかるため、スプレー等で固めるよう研修中に指導した。																						
3. ○本 ○紀○ (西南)	午前中、体調不良(腹痛)により一時席を外していたが、戻った後は問題なく受講していた。自然な優しい笑顔で表情のワークを行っていた。																						
4. 井○○ (水戸)	講師の方に身体を向け、終始熱心に傾聴していた。身だしなみチェックでは、全部に○を付けていた。																						
5. ○野 ○美 (水戸)	温かみのある笑顔が出ていた。両サイドの前髪が一部顔にかかっていたため整え方を助言したが、素直に聞き入れていた。																						
6. ○倉 ○紀子 (水戸)	基本接客用語の練習時には大きな声を出し、真剣に取り組んでいた。姿勢がよく、指名され壇上へ上がったが、そこでも綺麗なお辞儀が出来ていた。身だしなみチェックでは全てに○が付いていた。																						
7. ○宮 ○○ (水戸)	笑顔ワークでは、非常に綺麗な明るい笑顔が出ていた。「お客様へ常に親身に接しているか」という質問に対し、真すぐに挙手していた。髪の色をワントーン落とすと、更に落ち着いた印象になる。																						
8. ○野 優○ (東西茨城)	挨拶の練習時には大きな声で取り組んでいた。お辞儀をする際には首から下がりやすいため、気を付けると良い。																						
9. 稲○ ○奈 (つくば)	常に足を綺麗に揃えて受講していた。当初は自信が無い表情であったが、講師に姿勢を褒められた後は表情が明るくなり、真剣さも更に増していた。																						
10. ○沼 ○美	テキストが文字で一杯になる程、多くのメモを取っていた。																						

(つくば)	両サイドを耳にかけ、すっきりとした清潔感のある髪型が印象的だった。
11. 秋○ 麻○ (つくば)	前をしっかりと見据え、熱心に受講していた。 身だしなみのチェックワークでは、服のほつれと靴に汚れがある点に気づくことが出来ていた。
12. ○木 ○○美 (つくば)	研修前半は組んだ足を揺らす等、集中できない様子が見られたが、後半はしっかりとメモを取りながら、しっかりと取組む姿勢へと大きく変わった。
13. ○山 ○ (つくば)	電話対応ワークでは、明るい笑声で丁寧な話し方が出来ていた。身だしなみについては、垂れていた前髪をスプレーで固めた所、清潔感が出て印象が大変向上した。
14. 杉○ 美○ (珂北)	「普段、明るく優しい返事が出来ているか」という講師からの問いかけに、「出来ている」と挙手していた。 身だしなみのワーク時には、サイドの髪を耳にかけ、スッパリとした印象になるよう自ら工夫をしていた。
15. ○井 ○奈 (日立)	「お客様に対して親身に接しているか」「明るく優しい返事が出来ているか」という質問に対し、両方共「出来ている」に挙手していた。
16. 鈴○ 真○ (東西茨城)	接客用語の練習ワークでは大きな声が出せていた。 特に後半は、非常に集中して多くのメモを取っていた。
17. 黒○ 美○ (東西茨城)	お辞儀の練習時には何度も分離礼を繰り返し、大変熱心に取り組んでいた。 髪の色がやや明るいため、業務の際には工夫すると良い。
18. 岩○ ○○香 (珂北)	終始背筋を伸ばし、綺麗な所作を心掛けていた。 最後の表彰式では、美しい姿勢と綺麗なお辞儀、丁寧な所作で臨み、成果を挙げていた。
19. ○藤 ○子 (水戸)	姿勢についての講義後、最後まで非常に美しい姿勢を保っていた。表彰式では、綺麗な姿勢とお辞儀で、表彰状を受け取る姿が印象的だった。
20. 小○ 菜○○ (日立)	表情ワークでは明るい笑顔が出るようになり、姿勢も徐々に改善された。ワークでは記入が早かった。
21. 伊○ 愛○ (日立)	頷きながら熱心にテキストへ書き込んでいた。前髪が目には掛かっている点を改善するよう講師から助言した。
22. 篠○ 千○ (東西茨城)	お辞儀の練習時には、腰痛があり腰をあまり曲げられないとのことで、無理のない範囲で練習を行っていただいた。 熱心にメモを取りながら、受講していた。
23. ○藤 絵○ (東西茨城)	髪はきれいに結ばれていたが、髪色がやや明るいため、落ち着いた色にすると良い。電話対応では壇上に上がり、滑舌よく、相手に寄り添った話し方を披露していた。
24. 山○ 真○ (東西茨城)	身だしなみチェックでは、服のほつれと靴の汚れについて自ら指摘していた。後半は背もたれに大きく寄りかかっていたため、業務時には特に気を付けていただきたい。
25. 谷○ 美○ (東西茨城)	髪型はハーフアップにまとめ清潔感があった。電話対応のワークでは指名され壇上に上がり、温かい笑声でキーワードをはっきりと伝えながら感じの良い話し方が出来ていた。

今後の課題	今後の課題は、以下の4点である。 1. PS5 原則の定着 今回研修で学んだことを繰り返し練習し、常にPS(患者様満足)5原則を意識した行動を心がけること。知識を身に着け、実践することが出来ても、それが「いつも」出来る状態にするには、各人の継続性あるスキルの向上と定着が不可欠である。 2. 正しい言葉遣い 混みあう時間帯には業務にスピード感を求められることもあるが、そのような状況にあっても常に丁寧な言葉遣いが出来ることが求められる。 そのためには、日頃からの正しい敬語の使用や、患者様を不快にさせない言葉遣いのコツを常に意識して実践していただきたい。 仲の良いスタッフ間においても、業務中には丁寧な話し方を心がけ、間違った言葉遣いに対しては互いに指摘しあう環境を作り、互いに切磋琢磨していくこと。 3. 患者様の気持ちに寄り添う対応(含クレーム対応) クレーム対応は、敢えて問題点を伝えて下さる患者様からのご意見だということを念頭に、「感謝の気持ち」を忘れずに対応することが必要である。 日頃からスタッフ間で、過去や他院で起きた事例などを情報共有し、その対処法を考えておくとう有用である。 4. 身だしなみの徹底 第三者満足を満たすためにはどのようにすべきかを考え、常に意識して実践することが肝要である。また、相互アドバイスも有効に行うことが望まれる。 今回学んだ項目の中で有益だと感じた内容を、ご自身のクリニックへ持ち帰り、他のスタッフも巻き込み全体で共有すること、及び、各医院でこれらを実践することにより、歯科医師会様全体での接遇レベルアップを目指していただきたい。 今研修が、より一層の患者様満足度を向上させるための一助となれば幸いです。 研修に際し、多くのサポートをいただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます、講師所感といたします。 ありがとうございました。 以上
---------------------	--

令和3年度歯科助手講習会閉講式

医療管理委員会 奥田 雅人

令和3年度の医療管理委員会の事業の一環として、日歯認定歯科助手講習会を開催しました。昨年はコロナ禍のため中止、今年は2年ぶりの実施となりました。

令和3年5月27日の開講式に始まり、同年11月11日までの全9回、途中は緊急事態宣言発令中、予定講義時間短縮、レポート提出、YouTubeを使っのオンライン講義、昼食は黙食の徹底等、これまでとは違う対応を取りながら先日11月11日無事に閉講式を執り行うことができ、受講生は日歯認定乙種第一歯科助手の認定証を授与されました。



コロナの収束がまだ見えない中、はたして受講生がどれくらい集まるのか。例年受講生の評判が高かった衛生士科、技工士科の先生方による実習はどのように行えばいいのか。

救急普及協会に依頼している救急処置の実習はできるのか。

一つ一つを各方面との話し合いをしながら進めていった今回は、我々医療管理委員会にとっても貴重な経験になりました。

受講生の感想文に目を通してみると、それぞれ



が各回の講義実習で多くのことを学び取り、実際に勤務するクリニックで役立てようとする前向きな心構えを知ることができました。

受講生の中にはこれを機会に歯科衛生士になりたいという希望を書いてくれた受講生もいて、私たち委員も満足感を得ることができました。

このような状況の中、自院のスタッフをこの講習会に送り出して下さった院長先生にも感謝申し上げます。

来年度も今回の経験を基にして開催予定をしていますので、是非ご活用下さい。

医療管理委員会ではこのほかにも対面によるスタッフセミナー、歯科衛生士復職支援講習会等、計画していますので、ご協力ご活用をいただけますようよろしくお願いいたします。



日歯認定歯科助手講習を受講して

50番 星野 祐子

今回日歯認定歯科助手講習を受講して、歯科医院の仕事を体系的に学べて大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。普段仕事で何気なく行っている一つ一つの業務について理論だって深く学びなおすというのは貴重な経験になりました。そして、歯科医院という職場の特殊性、歯科助手という仕事のあり方について改めて考える事が出来ました。

毎日の仕事で忙しく過ごすうちに、そもそも歯科医院に来院する患者さんは痛みや恐怖を感じている弱者であり、愛情といたわりの気持ちを持って接することが必要なのだという事も忘れがちになっており、反省しました。いつも笑顔で患者さんに声かけし、ドクターには本音で言えないような事もしっかり話を聞いて情報を共有し、患者さんの様子に気を配って次の準備に取り掛かる事で治療がスムーズになる事もよくわかりました。

初日の中村講師のお話は、とても印象的でした。家庭を守りながら多方面で積極的に活躍され、あるがままを受け入れてどんな時も希望に向かって、一秒一秒を大切に笑顔で生きる姿勢に感動しました。歯科医院の仕事だけでなく、一日一日を後悔なく過ごせるようこれからの生き方を考えていこうと思います。

各分野についての歯科医師の先生方の講習はきれいなスライドを用いたわかりやすい説明で、充実した内容のとても勉強になる事ばかりでした。

ご自身の歯科医院での経験などのお話もとても参考になりました。

衛生士学校の先生方の講義や、学校の施設での実習は、本当の生徒になったかのようにとても楽しかったです。画面に映し出される映像を見ながらの実習はとても分かりやすくインストラクターの先生方も一人一人見回って下さり、質問にも答えてくださり、大変ありがたかったです。日常の仕事では、慣れてしまっていていい加減にやってしまいがちな事も、基本に立ち返って正確な仕事をしなくてはいけないと思いました。

それから、救急救命の講習は大変ためになりました。始めに見せて頂いた、AEDがあれば救われたかもしれない若い命のお話に関するビデオは、衝撃的でした。もしその場にいても知識が無くては何もできない事がわかりとても真剣な気持ちで講習を受けました。見やすいパンフレットで救急蘇生の手順を学びモデルを使って実際に練習をしました。継続して動作を行う事はとても大変でしたが、定期的に思い出して練習を続け、学んだ知識をいざという時には役立てるよう、意識して生活していこうと思います。

水戸まで片道二時間近くかけて通うのは大変でしたが、資格が頂けるだけでなく内容が素晴らしく、受講できて本当に良かったと思います。先生方に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



【茨城大学教育学部附属中学校実習】

12月3日に茨城大学教育学部附属中学校において歯科衛生士科3年生が歯科保健指導実習を行いました。

新型コロナウイルス感染者が減少してきたとはいえ変異ウイルスであるオミクロン株が確認されるなど油断できない状況の中、実習を受入れてくださったことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

歯科保健指導は媒体を使用して、う蝕やその原因、間食の取り方、歯肉炎から歯周病などの講話をしました。幼稚園や小学校の集団指導は経験をしていましたが、中学生に対しては初めての実習という事もあり、若干緊張していたように感じました。次第に生徒の皆さんが熱心に話を聞いてくれるようになったことや、質問も出たりすることで徐々に緊張もほぐれてきたように感じました。



その後、個別指導を実施しました。事前に歯科健診表から個人の口腔状態を把握して指導案を作成して臨みましたが、対面で即座に問題点の抽出

をして適切な指導を行うことの難しさや、コミュニケーションの取り方を経験するなど、とても貴重な機会になったのではないかと思います。

終了後に養護教諭より、「歯科保健指導を受けている生徒の皆さんの顔がイキイキしていたことに感動しました。」とコメントを頂きました。本校学生においても同じことで、校内では普段見ることのできない緊張感、歯科保健指導の内容が対象者に伝わった時の喜びからの達成感が学生の表情から専任教員にも伝わりました。卒業後は、今回の経験を活かしてくれることを願っています。

これから、本格的な国家試験勉強に入っていきます。全員が国家試験に合格できるよう、私たち専任教員も邁進していきたいと思います。

自粛が多くなりSNSのつながりが多くなっている昨今ではありますが、やはり人との関わりは重要ですので、学校生活においても一日も早く元の生活に戻ることを祈りたいと思いました。

(文責 庄司)

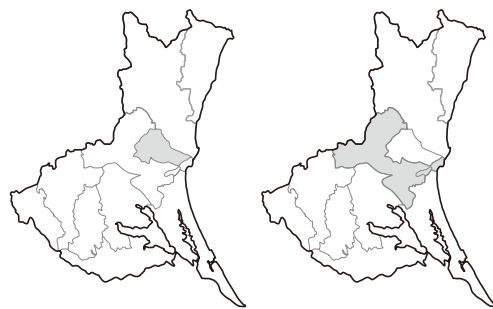




令和3年度 水戸市歯科医師会・東西歯科医師会 合同学術講演会報告

演題：認知症診療のその先へ～当院のあらたなチャレンジ～

講師：白土 綾佳 先生 あやか内科クリニック院長



(社)水戸市歯科医師会学術委員 高根 正敏

令和3年11月14日（日）に水戸市歯科医師会と東西歯科医師会の合同開催でWEBによる学術講演会が開催されました。今回は茨城県笠間市でご開業されている白土綾佳先生をお招きし「認知症診療のその先へ～当院のあらたなチャレンジ～」という演題にてご講演いただきました。「認知症」とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしたために様々な障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態のことをいいます。高齢化の進展とともに認知症患者数も増加しており、2025年には65歳以上の高齢者の認知症有病率は5人に1人と言われております。原因やメカニズム、治療法に関してまだ不明な点も多い症候群ですが、日常臨床において白土先生が取り組んでいらっしゃる考え方や予防法についてご講演いただきました。以下は白土先生による事後抄録になります。

○認知症診療との出会い

総合診療医として茨城県で高齢者診療を行い、既存の認知症診療が数多くの問題を抱えていることを知った。そんな時にコウノメソッドと出会い、通常診療と並行して認知症診療を行うようになり現在に至る。コウノメソッドからは認知症の知識のみならず、学会や論文が提唱する既存の常識・

医療知識を疑い、自ら現場で検証して真実を追求する姿勢を学んだ。

○本当の意味での健康を目指して

認知症の方の改善や健康を追求しようと思うほど、薬剤に偏った医療の限界にぶつかる。そんな時に「アルツハイマー病 真実と終焉」という書籍を通じてリコード法を知り、そこで紹介されるケトジェニック食という食事療法を知る。

ケトジェニック食とは、米やパンなどの炭水化物を主食とせず、肉・魚・卵・ナッツ・野菜などを中心とする食事であり、一般的な「バランスがとれた食事」とはPFCバランスが大きく異なる。糖質が少なく（20%）、脂質の割合が多い（60%）ことが特徴である。

糖質

現代私たちが“普通の食事”と認識している食は、せいぜい100年程度の歴史しかなく、500万年の人類の歴史からすれば1%以下である。人類のDNAは狩猟時代に最適化されており、精製糖質により血糖が急上昇するという形で体がSOSを発している。

過剰な糖摂取でインスリンが分泌され血糖が下がるが、インスリンは糖を脂肪として体に蓄えることで血糖を下げており、肥満・脂肪肝→インス

リン抵抗性を招く。現代人が人生の後半に患う97%の病気は肥満・インスリン抵抗性からスタートするメタボリックドミノの下流に位置すると言われており、糖質を摂り過ぎないことが後半人生を健康に生きる秘訣と言える。

「朝にご飯を食べないと力が出ない」などと言われるが、本来人間は糖質をエネルギーとする糖質エンジン以外に、脂質をエネルギー源とするケトンエンジンも搭載しており、こちらの方が100倍のエネルギーを備蓄できる高性能エンジンである。問題はケトンエンジンは糖質を持続的に摂取している限り稼働しないため、糖質過剰の現代人においてはさびついている。安定して稼働するのに2～3週間の時間を要する。ケトンエンジンを回す「ケトン体で生きる」ことにより、脂肪が燃やされ減量となる、生活習慣病が改善するのみならず、肌や血管が若々しくなる、運動パフォーマンスの向上、長寿遺伝子の活性化、がん予防など多くの領域にまたがる健康効果が期待できる。

アルツハイマー型認知症は、3型糖尿病と称される。糖尿病でインスリン抵抗性が生ずるのと同様に、脳にインスリン抵抗性が生じる。糖質をエネルギーとしてうまく取り込めない状態から神経変性に至ると言われている。実際にHbA1cと脳萎縮、インスリン抵抗性と記憶力には相関があると言われており、血糖コントロールを良好に保つことが認知症予防の要となる。

糖質の中でも小麦由来のグルテンは、腸と脳に炎症を引き起こす。腸の炎症からリーキーガット症候群となり消化器症状やアレルギー症状が、脳の炎症からほぼ全ての精神科疾患・症状の原因・悪化要因となりうる。

脂質

脂質については1980年に動脈硬化の原因を脂質とする“コレステロール犯人説”により、一方的に健康に害があると認識されてきたが、2014年

TIME誌に「Eat Butter (バターを食べよ)」という特集が組まれたことで、パラダイムシフトと言ってよい常識の転換が起きている。

コレステロールは8割が肝臓で作られており、食事のコレステロールを制限しても血管イベントの減少にはつながらないことがわかっており、2015年には米国食事ガイドラインで脂質摂取の制限はしないことが記載されている。

アルツハイマー型で糖質をうまく使えない脳においても、脂質由来のケトン体はエネルギー源として利用可能である。認知症の方でケトン体を生み出しやすい中鎖脂肪酸であるMCTオイル・ココナッツオイルを摂取することで認知機能の改善を認めることが、「アルツハイマー病が劇的に改善した!」の著者でもあるメアリーニューポート氏により発見された。

コレステロールは脳神経の細胞膜の構成要素でもあり、この合成を抑制するスタチンという薬剤



の長期内服により、認知症発症の確率が増加することわかっている。

タンパク質

タンパク質は私たちの体を構成する重要な要素であり、新鮮なタンパク質を食事の形で摂取することが、良質な内臓を作ることにつながる。低タンパクは現代型栄養失調の一つと言われるほど重大な問題である。具体的には体重1 kgあたり1 gを最低限の量として摂取すべきである。腎機能を保護するためにタンパク制限を行うことについては、腎保護効果が期待できないことがMDRD試験により報告されている。タンパク代謝の結果産生されるホモシステイン過剰を心配する場合は、ビタミンB complexを併用することを検討する。

高齢者においては昼を漬物とご飯のみ、もしくは菓子パンのみで済ませる例が少なくないことを外来問診において知った。栄養素としては糖質過多・低タンパクで望ましくない。また低タンパクは消化機能を低下させ、「肉を食べるとお腹が張る、下痢をする」という症状につながり更なる低タンパクな食事摂取につながる悪循環に陥りやすい。そのような状況では1年の期間を設けゆるやかにタンパク摂取量を増やすなどの方法を取らざるを得ない。従来は専らアスリートが摂取していたホエイプロテインの飲み物は、食事からのタンパク量をすぐには稼げない高齢者や食が細い若年者では食事の補助として有効な手段と言える。

鉄

月経による出血がある年代の10～50歳代の女性における鉄不足は、日本の今後を左右しかねない重大な健康課題であると認識している。体の備蓄の鉄をあらわすフェリチンは、100以上が理想的と言われるが、その年代で満たしている女性は2%と言われており、6割が重度鉄不足と言われる30以下であるのが実情である（藤川医師のうつ消し

ごはんより）。

鉄はエネルギー代謝の電子伝達系において重要な役割を果たすため、著しい鉄不足ではエネルギー不足となり、疲れやすい、意欲が出ない、頭痛などの慢性的な体調不良を招く。また鉄は精神安定に寄与するセロトニンという神経伝達物質の材料でもあり、鉄不足で不安やパニック、抑うつなどの精神症状をきたしうる。出産時に母親は赤ん坊に40のフェリチンを渡すため、鉄不足の母から生まれた子どもも鉄不足となり、中枢神経系の発達に影響するなど、世代を超えた健康課題となる。日本以外の20ヵ国以上で基本的な食材に鉄を混合して鉄不足の問題が解消されていることから、日本でも早急に国策としてこの課題を解決するべきと考える。

○当院のチャレンジ

上記のように栄養が私たちの健康に及ぼす影響は甚大であり、疾患の予防、真の意味での改善は、食生活の改善においては期待できない。市民の生活に寄り添い健康に関わる者として、食事指導は町医者 of 使命と考え、診療の一環としてケトジェニック食指導を開始する方向で準備を進めている。

通常医療機関で栄養指導を行う場合は国家資格である管理栄養士を雇用して行うことが一般的であるが、ケトジェニックの考え方が現在一般的に行われている栄養士への教育内容と異なる。当院では、国家資格にこだわらず新たな栄養知識を学びたい院内スタッフを教育して食事指導にあたってもらおう方向で考えている。

症例数としては多くはないものの、実際にケトジェニックの考え方で指導を開始し、食生活の改善によりHbA1c 11%→5%台まで改善した症例を経験している。今後は疾患の症例数を増やし経験を積み重ねた上で、WEB上で教育・情報共有・コミュニティづくりができる空間をつくることを考えている。

以上、今回の講演の事後抄録を報告させていただきました。我々歯科医師は職務として咀嚼の維持・回復に努めています。しかし、そのすぐ先にある食事（栄養・食べ方）が認知症をはじめとする成人疾患に対して影響を与えることを、今まで

は患者さんに話す機会が余りなかったかもしれません。しかし、歯科医師がそれらの知識を詳しく知り、患者さんに指導出来るようになることで、より全身の健康寿命の延伸に寄与することが出来るようになると感じました。

茨城・県西歯科医師会主催講演会



地域保健委員会 保坂 栄勇

去る、11月23日（火）勤労感謝の日に筑西市スピカビルにおいて県西歯科医師会主催の市民向け歯科講話ならびに地球のステージ桑山紀彦氏による音と映像によるライブコンサートが行われた。茨城県においても新規の新型コロナ感染者が激減したとはいえ、まだコロナ禍でもあり感染防止対策を施し先着100名に限定したが、当初懸念されていた参加者も約90名となりほぼ満席に近い状



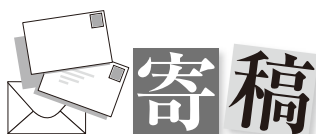
態であった。第一部は県西歯科医師会の海老沢俊一先生より“歯っとする話”と題し、予防の大切さから歯周病と全身疾患との関係、オーラルフレイルと口腔機能障害、筋力の低下なども含め定期健診の重要性について講演していただいた。休憩をはさみ地球のステージが開幕した。桑山氏は岐阜県飛騨高山市生まれ、1987年山形大学医学部を卒業後、精神神経科大学院に進むと89年よりJVC日本国際ボランティアセンターに所属し難民救援活動を開始された。91年には日本人医師として初めて湾岸戦争後のイラクに入り救援活動を行い、92年以降もカンボジア、ソマリア、東ティモール、旧ユーゴ、パレスチナなどのほか世界60か国以上の国、地域にて医療救援活動、支援事業を行った。国内においても阪神淡路大震災や東日本大震災などのときに被災地において救援活動をされ、現在NPO法人地球のステージ代表として2016年より全国各地の小、中学校を主に活動されている。2017



年に茨城県から優良興業の推奨をうけ、県西歯科医師会においても2年前に真壁地区において開催したところ反響が大きく昨年筑西市で予定していたが、残念ながらコロナ禍において中止となったため今年は委員一同ぜひとも開催したかった公演である。ステージが開くとオープニングテーマの演奏に乗って世界5大陸の名峰の美しい自然と紛争が残る地域で暮らす人々の様子が映し出され桑山氏の演奏による世界の旅が始まった。いまでも紛争が続くパレスチナ自治区ガザ、両親を空爆で失った一人の少女の心のケアの取り組みを表現した映画制作の活動や、2003年ごろのタリバンが崩壊しアフガニスタンの混沌とした社会の中で生きる人々のたくましさや誇り高き生き様が音楽とともに映し出され、民族の多様性を感じさせられた。また東ティモールの山間部において医療活動を通して私たちにできることは何か、途上国での生きるべき姿を考えさせられた。最後に新型コロナウイルスに振り回されている人類について、医学的視点を交え心の在り方について話された。また、NHKのみんなのうたで流れそうな“新コロ君と人類”という自作曲を披露され、コロナとは何なのかを知ることでコロナに負けない、振り回されな



い心持ちを模索し、コロナとの共存、棲み分けのため各自が考えさせられる内容であった。こうしてあっという間に約90分間の桑山氏のステージが終了し会場からは感動の声とともに、会長からは“結城でまた来年もな”、とささやかれた素晴らしい公演会であった。



いばらきスポーツデンティスト 資格更新講習会

いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会 深谷 聖

去る令和3年11月28日（日）茨城県歯科医師会館3階講堂にて、いばらきスポーツデンティスト資格更新講習会が行われました。

第一部は、東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室教授の武田友孝先生による「スポーツと歯科・より安全なマウスガードの必要性」でした。



まず初めに、スポーツ歯科医学の目的として、①顎口腔系スポーツ傷害の適切な診断、治療、予防②選手の健康の維持・増進があり、この2つが達成されれば、ベストパフォーマンス、ベスト運動能力の発揮を支持できると考えられていることを話されました。

次は、この夏行われた東京オリンピックの話でした。

武田先生は、幕張メッセで行われたレスリングと、有明アリーナで行われたバレーボールの医療サポートチームの一員として参加されました。東

京オリンピックでの歯科受診は、患者数1,344人、保存修復247人、歯石除去400人、歯内療法83人、カスタムメイドマウスガード作製数は255人だったそうです。コロナ禍ということもあり、例年のオリンピックよりもマウスガード製作数は少なかったようでした。

パラリンピックの話としては、車いすラグビーの選手がマウスガードを入れない理由として、

手が不自由なうえ、車いすのすべりを良くするために手にマツヤニを塗ることで、マウスガードの出し入れをすることが困難だということを教えていただきました。今年のパラリンピックは17種目ありましたが、歯科のサポート要請は1種目も無かったそうで、これからの大きな課題だと話されました。

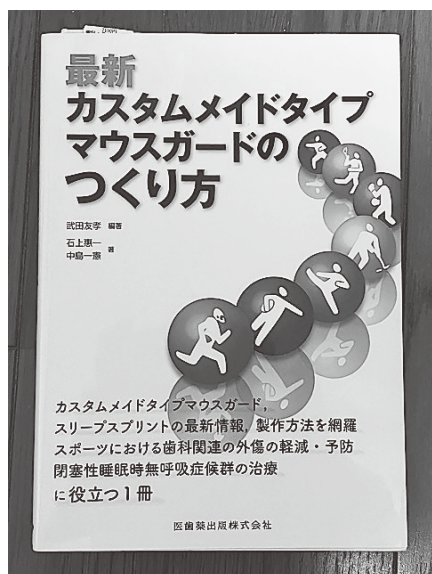
次にスポーツにおけるマウスガードの話でした。マウスガードは、車の安全に置き換えるとシートベルトに当たるという素晴らしい例えをお教えいただきました。マウスガードの使用目的としては外傷・障害予防であり、我々が見落としがちなのが、他の選手に対する歯の外傷の予防、軽減であり、実際にスポーツで起こった歯の外傷症例の動画を見せていただきました。

最後に、最新のマウスガードの製作法についてご教授いただきました。GCと武田先生が共同開発した、「ジーシーインナーフレームLC」を使った

マウスガード製法について動画で分かりやすく説明していただきました。今年の10月10日に茨城県歯科医師会いばらき健康づくり歯学協議会運営委員会のメンバーで、「ジーシーインナーフレームLC」を使ったマウスガード製作講習会を行いました。インナーフレームの接着の難しさや気泡が入りやすいことなど、課題がありました。是非、コンタクトスポーツの選手で作製してみようと思います。



スポーツ歯科の第一人者である武田先生の最新の著書として、「最新カスタムメイドタイプマウスガードの作り方」(医歯薬出版株式会社)(6500円+税)がありますので、ご興味のある先生は是非ご購入していただければ幸いです。



第二部は、元ラグビー日本代表大野均氏による「ゴール達成に向けて」～目標設定の大事さと、それに向けたアクション～でした。



尚、ファシリテーターとして、大野均氏の講演のサポートをしていただいたのは、私の弟の深谷暢氏(株式会社TSUNAGU、代表取締役)でした。(写真左側)



大野均氏は、大学(福島県郡山市にある日本大学工学部ラグビー部)からラグビーを始めて、卒業後2001年に東芝ブレイブルーパスに入団し、2004年にラグビー日本代表に初選出され、最多98キャップを持つ異色のラグーマンです。当時、彼の出身大学である日本大学工学部ラグビー部は、私の出身大学である岩手医科大学ラグビー部と同じ東北地区大学ラグビーリーグに属しており、大学時代我々とさほど変わらないレベルから日本代表に上り詰めた経歴は、とても尊敬に値します。

彼が大学時代のラグビー部での目的は、「純粋にラグビーを楽しむこと」、そこから福島県選抜チームで、「がむしゃらについていき」、そこで目にとまって東芝ブレイブルーパスのトライアウトを受

け、肩を痛めるも「最後まで食らいついて」、東芝という強豪チームの入団が認められたのです。

大野均氏にとって、エディ・ジョーンズ氏が2011年に日本代表のヘッドコーチに就任したことが大きな転機となりました。ラグビー日本代表の過去におけるラグビーワールドカップ大会の戦績は、1勝21敗2分、1991年に一度勝ったきりです。エディ・ジョーンズ氏は、「どうせ勝てない」という以前のマイナス常識をくつがえして、目的・目標を明確にし、それを達成するための方法・手段を掲げたことにより、選手達に対して細部にわたるミーティングを行い、より厳しい練習を課しました。その結果として「スポーツ史上最大の番狂わせ」「ブライトンの奇跡」と言われた2015年ラグビーワールドカップ南アフリカ戦での勝利を含め、予選プールで3勝をあげたことは言うまでもありません。より深く内容を知りたい方は、「ハードワーク 勝つためのマインド・セッティング」(講談社) (1400円+税) の購読をお勧めいたします。



我々医療経営者も、この素晴らしい結果を参考にして、明確な目的・目標を持ち、それに対しての明確な方法・手段を掲げて日々精進することがいかに大事かを痛感した講演となりました。

二人の演者への質疑応答時間の後、講演者二人に茨城県歯科医師会榎会長から感謝状が授与され講習会は終了しました。



まだコロナ禍の中、この講演会に参加された方は会場参加51名、WEB参加34名でした。感謝の意を表し、講演会の報告を終わらせていただきます。最後までお付き合い頂きありがとうございました。

有限会社 アイ・デー・エス は、
各種保険の代理店・集金業務
を行っております。

〈損害保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

〈生命保険会社〉

SOMPOひまわり生命保険株式会社

朝日生命保険相互会社

日本生命保険相互会社

大樹生命保険株式会社

明治安田生命保険相互会社

住友生命保険相互会社

第一生命保険株式会社

アフラック生命保険株式会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〈取扱保険商品〉

医師賠償責任保険

個人情報漏えい保険

クレーム対応費用保険

所得補償保険

長期傷害所得補償保険

家族傷害保険

デンタルファミリー傷害保険

ゴルファー保険

自動車保険

火災保険

グループ保険（団体定期保険）

小規模企業共済

新規加入、増額変更、何なりとご用命ください。

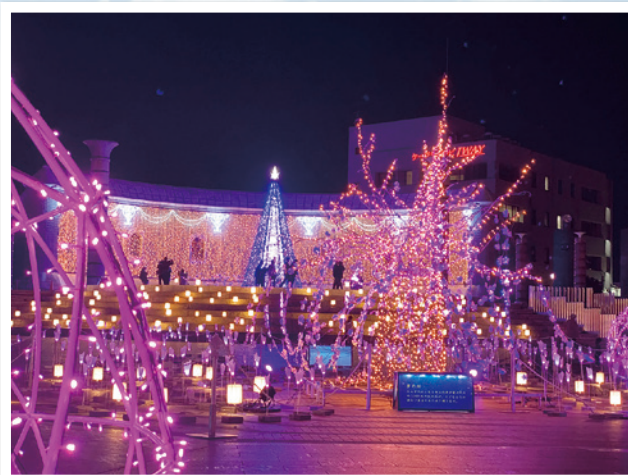
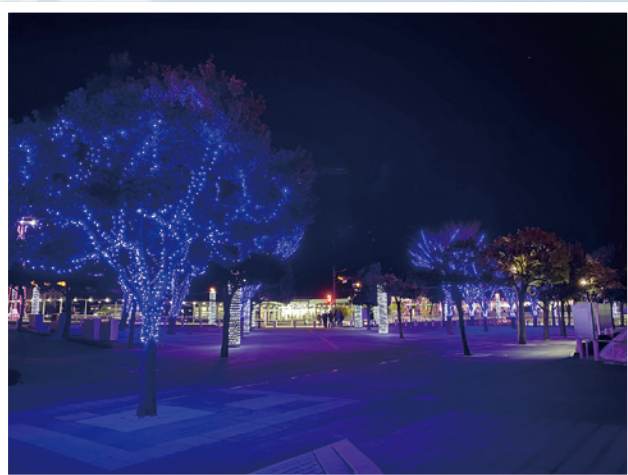
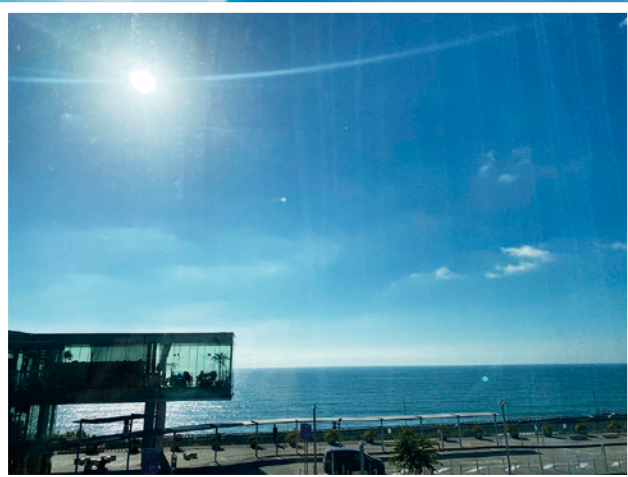
有限会社 アイ・デー・エス

代表取締役 榊 正幸

水戸市見和 2 丁目 292 番地の 1 茨城県歯科医師会館内 Tel:029-254-2826

みんなの写真館

Photo
Gallery



2021年12月の日立駅周囲

(社)日立歯科医師会 佐藤 慶尚

会 員 数

令和3年11月30日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	114
珂 北	143
水 戸	156
東西茨城	73
鹿 行	101
土浦石岡	178 -1
つくば	140 +2
県 南	175
県 西	153 +1
西 南	101 -2
準 会 員	7
計	1,341 ±0

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員 1,136名
2種会員 78名
終身会員 120名
準会員 7名
合 計 1,341名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和4年1月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。